

農地法第3条の規定による許可申請書

下記農地（~~採草放牧地~~）の（~~二~~）所有権を移転したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

令和 ●● 年 ●● 月 ●● 日

南丹市農業委員会長 様

(申請者)

譲渡人（~~貸大~~） 南丹 太郎

譲受人（~~借大~~） 株式会社 関西ファーム
代表取締役 関西 次郎

記

1 申請当事者の氏名（名称）等（国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。）

当事者	氏名(フリガナ)	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格 又は特別 永住者
譲渡人 （ 貸大 ）	南丹 太郎 (ナンタン タロウ)	80	農業	京都府南丹市園部町小桜町〇〇番地		
譲受人 （ 借大 ）	株式会社関西ファーム代表取締役 関西次郎 (カブシキガイシャカンサイファーム タイゴウ トリシマシヤクキ カンサイジロウ)		農業 製造業	京都府〇〇市〇〇町△△××番地	日本	

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 ㎡	作付作物 及び10a 当たり普通収 穫高 kg	利用 状況	所有者氏名 (名称)	所有 期間	利用者		備考
	登記簿	現況						氏名 (名称)	利用 権原	
八木町八木 〇〇29番地	田	田	1,010	400	水稻	南丹太郎	30年	南丹太郎	所有権	
以下余白										

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由 農業後継者がなく、家族労働力が不足しているため農業経営を縮小する。
（~~貸大~~）

譲受人の事由 食品製造業を営んでいるが、安心・安全な原材料を確保するため、自社で農産物
（~~借大~~） 生産を行うことを目的に、農地所有適格法人として農業経営規模を拡大する。

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

時期 令和●●年●●月 ~~目~~契約期間 許可後ただちに契約する。

対価 総額 918千円 3.3㎡当たり 3千円

~~[賃料(年額) 円]~~

5 権利を設定、移転しようとする当事者及びその世帯員等が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

土地の区分 ()内には、作付作物を記載すること。	譲受人(借人)					
	所有地			借入地		経営地合計 (①+④) ㎡
	自作地 ① ㎡	貸付地 ② ㎡	その他 ③ ㎡	現に耕作中の土地 ④ ㎡	その他 ⑤ ㎡	
田(水稲)	7,826					7,826
畑(野菜)				350		350
樹園地()						
計	7,826			350		8,176
採草放牧地						

※ ③については不耕作地の面積、⑤については不耕作地及び農地法第3条第2項第5号括弧書きに該当する貸付地の面積を記載すること。

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員等(構成員)がその耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況(法人にあってはその法人の耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況)

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	年間農作業 従事日数	農作業経験(研修)年数
世帯員等 (構成員)	関西 三郎	56	会社役員	270	10年
	関西 四郎	32	会社役員	250	5年
	中丹 五郎	30	会社役員	100	3年(農業研修所研修期間)
常時 雇用者					
臨時雇用者		年間延べ従事日数 日			

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農機具及び家畜の保有状況

種類	農業用自動車	トラクター	田植機	コンバイン	耕耘機				
既確保	1	1	1	1	1				
導入予定		1							

8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養蓄の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。

地域の農地の利用調整に協力し、周辺地域における農業に支障を及ぼすことはありません。